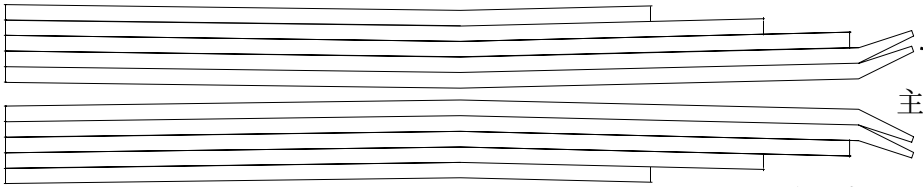
ハンドランチグライダー
コアトル

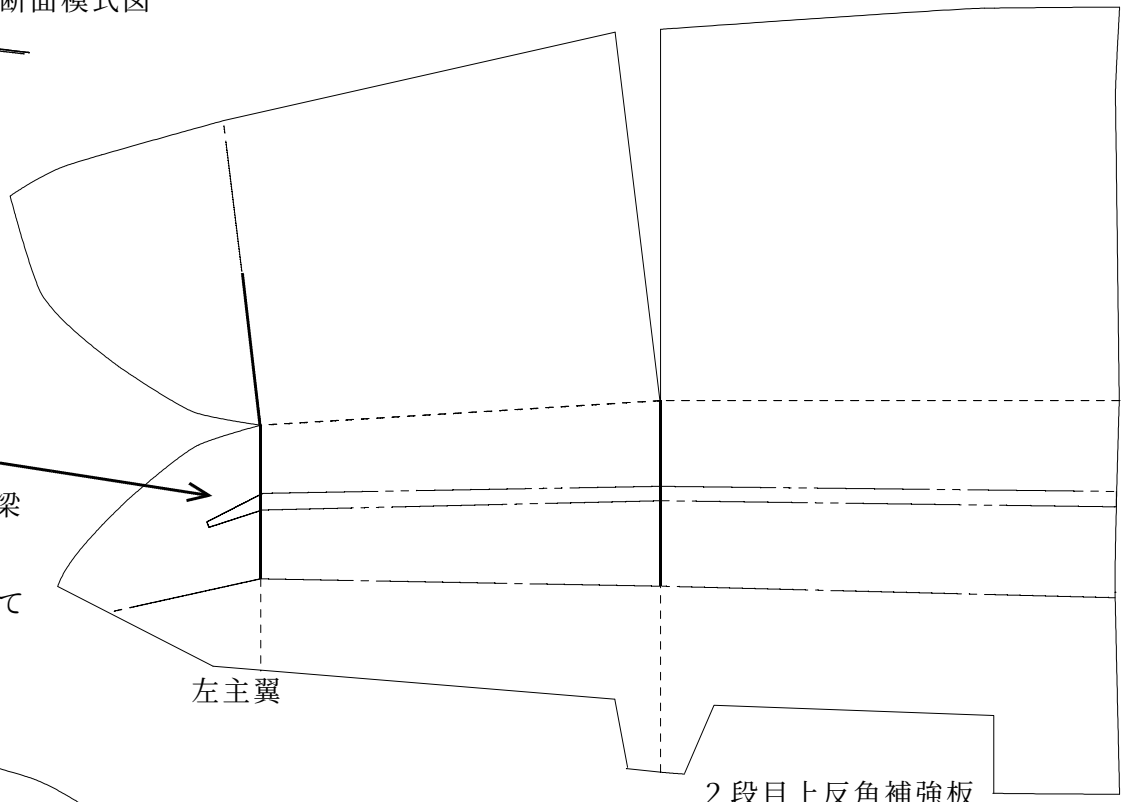
主翼断面模式図

データ

上反角　１段目５度　２段目１０度　３段目１５度
全長　２６ｃｍ
全幅　２９．３ｃｍ
重さ　約１２ｇ（ラッカー３倍液、２回刷毛塗り）
使用ケント紙　胴体部－ＡＧケント　水平尾翼－マーメイドケント紙（２１０ｋｇ、四六版）
主翼・他－レザック６６（１７５ｋｇ）
レザック６６入手困難なときは、１８０～２００ｋｇが良いがＡＧケントで可。

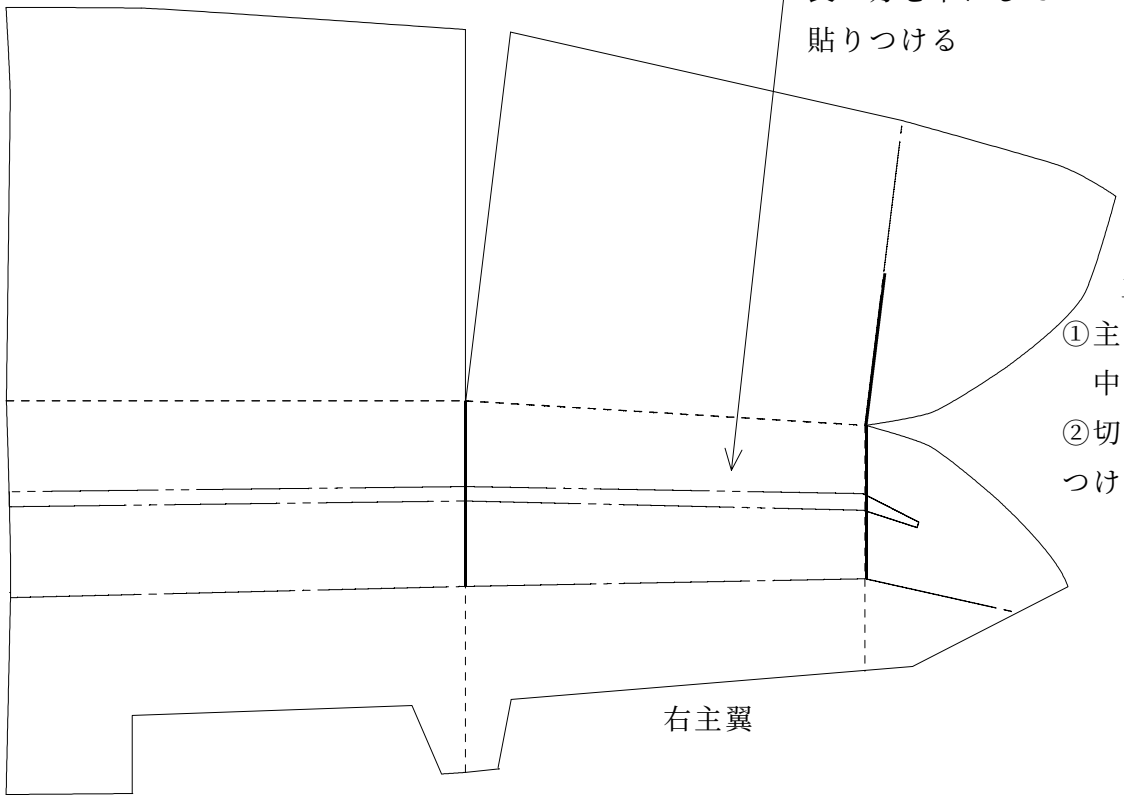


主翼の梁



左主翼

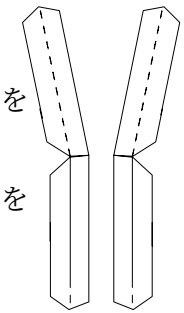
長い方を下にして
貼りつける



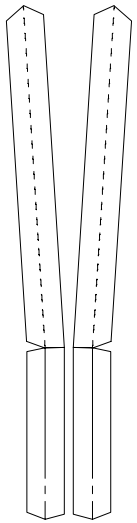
右主翼

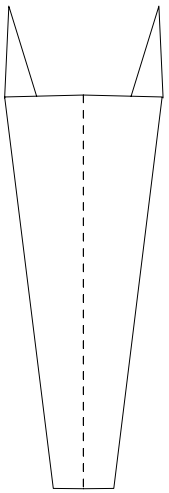
主翼の作り方
①主翼を折り曲げて前半分を
中空にして成形する。
②切り込みを入れて上反角を
つける。

３段目上反角補強板

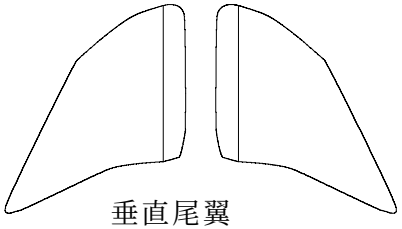


２段目上反角補強板

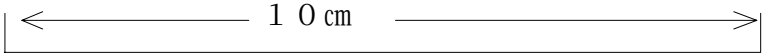




１段目上反角補強板



垂直尾翼

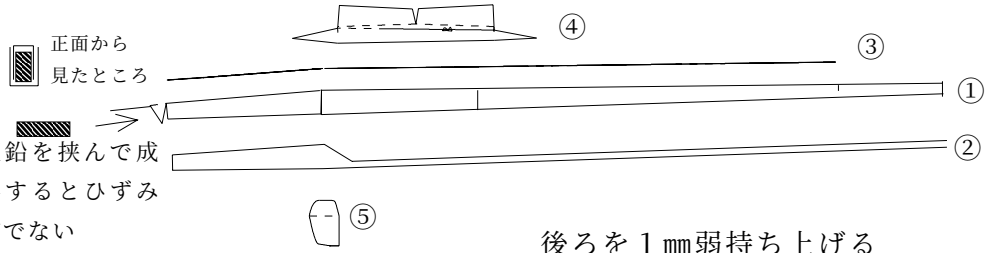


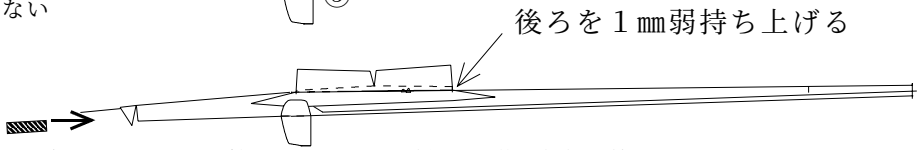
機体設計　内山邦夫（神戸紙飛行機を飛ばす会）２００２

点線は、谷折り。１点破線は山折り。
　インクの出ないボールペンなどであらかじめ線をなぞっておくこと。折り癖は、十分につけておくこと。
　折るときときは定規を当てると、歪みがでにくいです。
重心は△印。ジャパンカップでは後ろにあわせましたが、前にあわせた方が安定した滑空をします。
胴体は三角胴。スパイラルダイブで落とすとほぼ１００％で折れます。調整を入念にしてください。
　旋回は大きめから調整すると失敗が少なくなります。

後ろから
見たところ

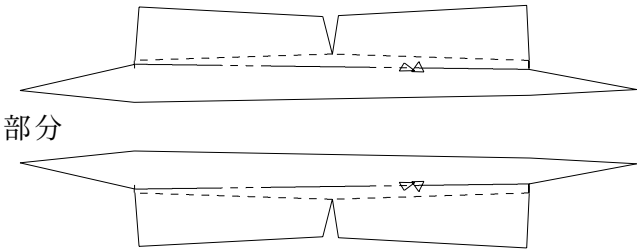
組み立て順



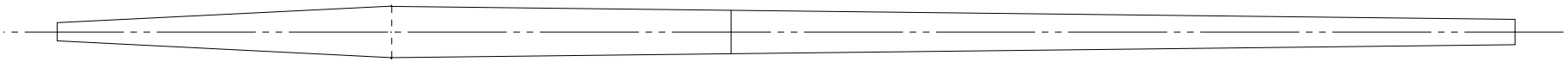


主翼と尾翼を取り付け、ラッカーで防湿した後、板鉛を前から入れて、重心をあわせてから閉じる

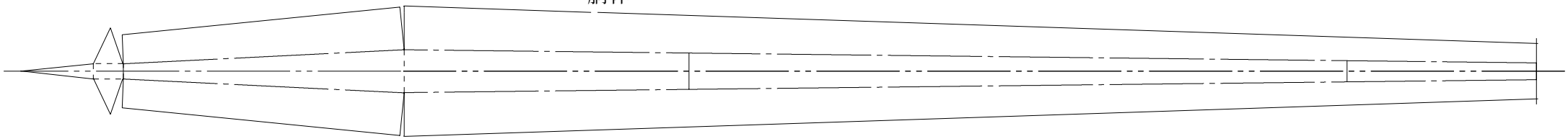
主翼取り付け部分



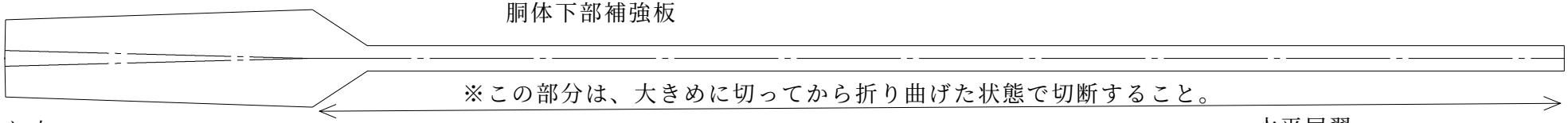
胴体上部補強板



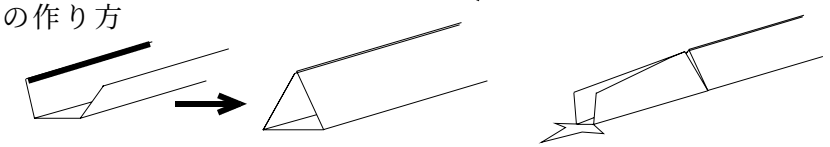
胴体



胴体下部補強板

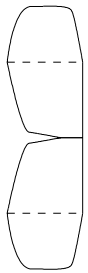


胴体の作り方

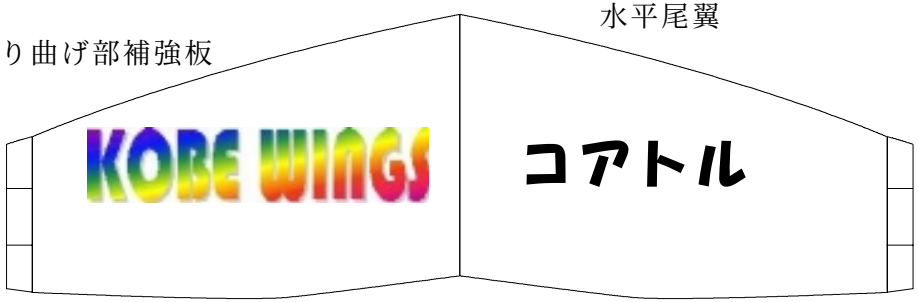


①胴体を折り曲げて三角の頂点に来るところに接着剤を塗ります（太い線の部分）。
②両方から折って、反対側の紙で接着剤を外にかき出すようにして反対側に接着剤をつけます。貼り合わせたところを上から指で押さえながらこすって接着します。左右から押すと貼り合わせたところがゆがみます。
③機首の先端は開けておきます。

胴体折り曲げ部補強板



水平尾翼



１０㎝